

上田市商工業振興プラン

(第1期 H30-R4)

主な成果

戦略1 次代につながる成長産業と上田ブランドの創造

東信州広域連携事業

東信州連携産業振興事業
負担金 実績

H30 11,000千円
R元 11,000千円
R2 11,070千円
R3 11,070千円

成果

10市町村、商工団体、支援機関等で構成する東信州次世代イノベーションセンターを中心に次世代産業創出に向けた健康・農業・環境分野の開発プロジェクト支援や人材確保育成支援を行うことができた。

R3 実績

- ・開発プロジェクト立ち上げ2分野
- ・人材育成事業9回
- ・人材確保事業14回
- ・信州大学繊維学部研究シーズと地域企業のマッチング(産学交流ラウンジ)、ネットワーク強化事業(経営者向けトップセミナー、オンラインdeサロン)計7回
- ・HP・LINEによる情報発信・随時
- ・エリア内コーディネーターとの連携促進

ブランディング支援事業



(有)信州観光バスによるICTを活用した交通体系及び情報発信による新たな観光体験の創出事業(令和2年度)

ブランディング支援事業補助金
実績

H30 6件 3,198千円
R元 4件 3,117千円
R2 8件 6,544千円
R3 6件 7,498千円

成果

一部、商品やイベントについては、テレビ、雑誌や新聞等にも取り上げられ、売上げも向上しているなど、実質的な効果につながっている。

信州上田ブランドの確立に寄与する商品開発という視点から、令和2年度からは製品(モノ)の開発のみならず、体験型サービス(コト消費)の開発まで補助対象を拡大して事業を実施している。

UEDA Nerima BASEをOPEN (令和4年10月)



信金中央金庫「SCBふるさと応援団 企業版ふるさと納税及び全国商工会連合会「共同・協業販路開拓支援事業補助金」を活用し、練馬区にアンテナショップを開設。

上田の名産品の販売だけでなく、将来的には、都市住民と上田市民をつなぐ重要な交流拠点となり、さまざまな出会い、関係構築の場へと育つことを目指している。

R4~6年度 10,000千円(企業版ふるさと納税に係る基金活用)



戦略2 中小企業経営の活性化支援

基幹産業支援体制整備事業



市内の同業種グループ(上田ドリームワークス)が諏訪圏メッセに出展

基幹産業支援体制整備事業委託料 実績

| | |
|-----|----------|
| H30 | 10,600千円 |
| R元 | 14,000千円 |
| R2 | 9,334千円 |
| R3 | 6,467千円 |

成果

関東圏の専門コーディネーターにより、域外からの受注促進が図られているうえ、共同での販路拡大や工場見学等で相互に情報を交換する機会が増え、企業間同士の融通などにもつながっている。

中心市街地活性化出店支援事業



中心市街地活性化出店支援事業補助金 実績

| | | |
|-----|----|---------|
| H30 | 4件 | 2,498千円 |
| R元 | 6件 | 7,678千円 |
| R2 | 4件 | 4,313千円 |
| R3 | 2件 | 2,528千円 |

成果

空き店舗の減少及び店舗を本来の用途で活用するための一助としたことにより、商店街のにぎわいづくりにつながった。

地元温泉街空き店舗等活用支援事業

地元温泉街空き店舗等活用支援事業補助金 実績

(R元年度事業開始)

| | | |
|----|----|---------|
| R元 | 1件 | 458千円 |
| R2 | 1件 | 1,500千円 |
| R3 | 3件 | 3,323千円 |

成果

地元自治会や地元住民組織と連携し、事業周知のための説明会を実施し、地域の空き店舗解消・活用意識の醸成に努め、店舗やフリースペース、イベントスペースなど、未活用物件の有効活用に繋げた。



地元温泉街空き店舗等活用支援事業補助金を利用し、別所温泉にフリースペース hidamariが新規開業(令和3年度)

戦略3 様々な優位性を生かす企業や起業家の誘致・留置

企業誘致促進事業

企業誘致・留置に係る助成金の実績

| ・用地取得事業 | | ・工場等設置事業 | |
|---------|-------------|----------|-------------|
| H30 | 0件 | H30 | 3件 12,454千円 |
| R元 | 0件 | R元 | 5件 27,453千円 |
| R2 | 3件 3,309千円 | R2 | 4件 28,427千円 |
| R3 | 7件 25,506千円 | R3 | 5件 43,426千円 |

両事業とも2年間の分割交付であり、用地取得事業は実質7社、工場設置事業は10社



工場等用地取得事業助成金及び工場等設置事業助成金を利用し、信越明星(株)が第3工場を建設。(令和3年度)

成果

各企業の工場増設に対する支援を実施したことで、企業誘致及び留置と今後の地域経済の発展に寄与する事ができた。

サテライトオフィス等開設事業



サテライトオフィス等開設事業補助金を利用し、大屋駅前にコワーキングスペースMADO NO WORKを開設(令和3年度)

サテライトオフィス等開設事業補助金 実績

(R3事業開始)

R3 3件 4,687千円

成果

企業等のサテライトオフィス、コワーキングスペースを新たに整備することができた。

箱畳第二期工業団地の造成及び販売

所在地 上田市中丸子
面積 48,914㎡
(うち平地 27,950㎡)
造成工事(H30年度～R3年度)
譲渡先募集 R4年7月～



戦略4 新たな事業の創出・事業承継支援

創業促進支援事業

創業促進支援事業補助金 実績

| | | |
|-----|-----|---------|
| H30 | 9件 | 2,697千円 |
| R元 | 8件 | 2,907千円 |
| R2 | 10件 | 5,142千円 |
| R3 | 13件 | 6,832千円 |



多様な働き方推進事業補助金を利用し、Pet Salon Ru-が新規開業(令和4年度)

成果

創業者に対し家賃、改修費、クラウドファンディングの活用について助成することによって、創業初期の負担軽減ができた。

事業承継・M & A支援事業



事業承継・M & A支援事業委託料
実績

(R2事業開始)

| | |
|----|---------|
| R2 | 2,025千円 |
| R3 | 678千円 |

信濃路うさぎや

旧店は令和3年7月に惜しまれつつ閉店したが、6次産業化に取り組む(株)ずくだせ農場が事業を承継。同社が食堂を営んでいた場所に、工場と直売所を設けた。

成果

コロナ禍の影響で、セミナー、研修等の開催に制約がある中で、地元金融機関との緊密な連携や事業者の個別訪問を地道に積み重ねることで、案件の掘り起こしと円滑な支援に結び付けることができています。
事業の性質上、マッチングの成約には時間を要するものであるが、地道な個別支援を継続することが重要であり、事例や知見の積み重ね等により地域の関係者の意識向上、技術向上を図ってまいりたい。

戦略5 企業活動を支える人材確保・人材育成支援

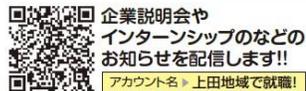
合同就職説明会



「信州上田地域合同就活フェア」の様子（上田市行政チャンネルより）

成果

上田地域の企業と、県内外の学生が参加する合同就職ガイダンスを毎年度4回実施している。多くの企業が人材獲得に向けて積極的に参加しており、若者の上田地域への就職に貢献することができている。



学生に情報を知ってもらう手段として、LINEアカウントを開設。SNSで各種イベントの告知を行っている。LINEの友だち追加を促進するため、プレゼント付き企業ガイドをLINEからの申込とする等、情報を確実に周知する施策も行っている。

UIターン就業・創業移住支援事業

長野県上田市 移住支援金 2022年4月以降の移住
(2022年7月現在の要綱)

制度概要

三大都市圏
東京圏(東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県)
大阪圏(大阪府)
中京圏(愛知県) → 止田市内に移住し、
一定の要件を満たす就業
または一定の要件を満たす創業

2人以上の世帯：100万円
(18歳未満の世帯を帯同する場合は、当該世帯員一人あたり30万円を加算)
単身世帯：60万円

住民票を移す前（移住元）

直前の10年間のうち、通算して5年以上、三大都市圏に「在住し」、「就労」していた。
この期間には三大都市圏の大学等への進学も通算できます。

直前に、連続して1年以上、三大都市圏に「在住し」、「就労」していた。

※住民票や戸籍の別表等で、世帯構成、居住状況を確認します。
※就労は、雇用保険の被保険者としての就労に限ります。（自営業などで確認します。）

上田市での就業（次のいずれかに該当）

※雇用される場合の労働条件等
・通勤、仕向等による勤務地の変更ではなく、新たな雇用であること
・3程等内の親族が、代表者、取締役、その他経営を担う職務を務める企業等でないこと
・週20時間以上の無期雇用契約であること

長野県のマッチングサイトに掲載された求人(市内企業) →

内閣府が実施する「プロフェッショナル人材事業」
または「先進的人材マッチング事業」を利用した就業(市内企業) →

三大都市圏の企業に所属したまま、テレワーカーとして市内で業務を行う。
業務命令としてではなく、自己の意思により移住に限りませう。

関係人口(移住前から上田市や上田市民と関わりを持つ活動をしている方)
○就業先(次のいずれかに該当)
・長野県のマッチングサイト掲載対象企業の
要件を満たす市内企業
・長野県の「職歴いさいアドバイザーカンパニー」
認証の市内企業

関係人とは・・・
・市内に通勤・通学、または居住したことがある
・上田市にふるさと納税をしたことがある
・市内に二世帯住宅または週末暮らしをしたことがある
・市内で地域活動に参加したことがある
・県または市の移住施策に参加したことがある

創業の方

長野県から「創業支援金」の交付決定を受けた市内での創業

その他の要件や予算の上限があるため、申請前に必ずご相談ください。(事前予約制です)
上田地域雇用推進課 0268-26-6023 kovo@city.ueda.nagano.jp

UIターン就業・創業移住支援事業補助金

| | | |
|----|----|---------|
| R元 | 1件 | 1,000千円 |
| R2 | 1件 | 1,000千円 |
| R3 | 7件 | 6,600千円 |

成果

市内企業等の担い手不足の解消等を目的として、三大都市圏（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府）から上田市内に移住し、就業または創業した方のうち、一定の要件を満たす方に対して支援金を交付している。移住者の市内企業への就職を促進することができた。

事業案内チラシ

また、補助金を支給していない、又はできないUIターン者に対しても、就職マッチング等の支援事業を行っており、市内企業への就労促進を図ることができている。

戦略6 産業支援を効果的に推進する体制づくり

東信州次世代産業振興協議会による 新産業の育成



2023年2月18日(土)
信濃毎日新聞 9面掲載

金属部品の受託加工を本業とするエスケープ精工が東信州次世代産業新協議会による打診をうけて、2021年から食用コオロギの養殖、販売を行っている。

コオロギの販売は2022年1月に本格化し、昆虫食販売を手がける事業者に供給している。県外からの引き合いもあるが、生産量の制約などから地元を優先して販路開拓を進めている。



高齢者を対象としたeスポーツの体験会を開催(令和4年度)

2023年2月2日(木)
東信ジャーナル1面掲載

公共交通キャッシュレス化推進事業



路線バスの運賃箱の上に設置されたキャッシュレス決済用端末。スマートフォンアプリに表示させたQRコードをこの端末にかざすと決済が完了する。

平成29年3月から、上田市、上田商工会議所、上田信用金庫の3社で市内企業の課題解決をサポートする「上田市キャラバン隊」の活動を継続しており、令和元年12月、3社で「地方創生に向けた連携に関する協定」を締結するなど連携を強化

こうしたなか、公共交通の課題解決に役立つ技術を有する県内企業の情報を上田信用金庫が把握。キャラバン隊にて企業を訪問し、スマートシティの実現に有益であることを確認。市内の交通事業者と協議を重ね、令和2年10月から実証実験を行っている。

関東経済産業局への職員派遣



定期的に経済産業省の地方ブロック機関である関東経済産業局へ職員を派遣している。(令和元～) 職員派遣を通して、職員の成長、人脈の構築及び国との連携強化等、組織の活性化につながっている。

戦略1 ウィズコロナ、アフターコロナにおける事業継続支援

Ticket QRによる消費喚起事業



○令和3年度消費喚起事業第3弾の実績

地元中小企業が開発、運営するスマホアプリ「TicketQR」を活用して、市内中小企業で使える割引クーポンを配布するキャンペーンを市内3商工団体を事務局として実施。

- ・期間 R3.12.1~R4.3.6(96日間)
- ・割引率 最大20%
- ・決済1回あたり割引上限 2,000円
- ・1IDあたり割引上限 10,000円
- ・参加店舗：840店舗
- ・チケット利用額 295,697千円
- ・広報等事務経費 14,695千円
- ・R3市内消費喚起推計額 1,478,485千円相当

○令和4年度消費喚起事業第4弾の実績

- ・参加店舗：1,045店舗
- ・チケット利用額 412,297千円

○令和4年度消費喚起事業第5弾の実績

- ・参加店舗：1,175店舗
- ・チケット利用額 303,064千円

テレワーク拠点の整備



アウトドア感あふれる佇まい
中庭でもWi-Fiが利用できます。



建物の雰囲気と周辺の自然に調和するよう
インテリアにアウトドアギアを採用

自然と調和した快適な空間に開放的な
ワーキングと個室型テレワークが融合し
た施設が誕生

+519worklodge
(上田市技術研修センター)

令和4年6月 開所
場所：上田市下之郷(上田リサーチパーク内)
敷地面積：2,541㎡
建物床面積：777㎡

平成9年開設の上田市技術研修センターの旧レストラン部分をワーキングエリアに改修し、宿泊用だった個室も生かし、リラックスできる空間と集中できる空間のハイブリッド型テレワーク拠点に再生した。